

No. 1236

六っ子ちゃん来日

9月15日夜、3歳8ヶ月になる六っ子が羽田空港に着きました。南アフリカ共和国のケープタウンに住むコリン・ローゼン・コウビッツさんと奥さんのスザンさんの間に生れた男3人、女3人の6人。六っ子の誕生の例は多いが6人とも元気に育っているのは世界でもめずらしく、東京のある放送局の招きで来日しました。一斉に光るカメラのフラッシュの歓迎にびっくりした様子の六つ子、長旅の疲れも重ってごきげんななめでした。抜けるような秋空のひろがった9月17日、6人は東京永田町にある日枝神社にひと足早い「七・五・三」祭り。男の子は羽織はかま、女の子は着物とすべて初体験すくめに緊張ぎみそれでも社殿で鈴の緒をひっぱったりしてはしゃいでいました。神主さんの祝詞を神妙に聞いたあと、4歳アメをもらってごきげんでした。21日には来日以来待ちかねていた日本の五っ子ちゃんを東京、練馬区の自宅に訪ねました。おみやげは大きなお人形。6人と5人合わせて11人、にぎやかな御対面でした。

無事故をめざして — 第1回交通安全フェア —

“みんなですすめる交通安全”をテーマとした総理府など各省庁主催の第1回交通安全フェアが9月18日から開かれましたが、これに先だち9月17日、交通安全フェアパレードが東京で行われました。パレードは日比谷公園を出発、藤田総理府総務長官をはじめミス東京、鼓笛隊など約1,000人が参加。また白バイなど車輛120台、騎馬6騎も参加し、沿道に集った人々の盛んな拍手を受けていました。交通安全フェアの会場は東京、千代田区にある科学技術館。18日、午前11時総理府総務長官、交通少年団のテープカットで華やかにオープン。会場はいくつかのコーナーに分けられ、交通行政のしくみや未来の交通システムなど各種のデータの紹介、見学者が参加できるドライバーテスト、実技教室、家族で楽しめる安全劇場など子供から高齢者まで幅広い層を対象に参加体験できる構成。この交通安全フェアを機に国民ひとりひとりが交通安全に対する自覚と認識をたかめ、1日も早く安全な交通社会をつくりたいものです。